No. 💥

担当課	高齢福祉課	安。却。已	健康福祉部	名質車業コード	111125
担当床	同断作业	至。即。向	(建) (田) (田)	丁昇爭未コート	111125

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	计 会逗扯注	人	·抽售供	料に係る補助	補		1)一般補助:	金 (団·	体等への補助	金など)
①開助並 寺 の石が	江五油址丛		.地貝旧/	1410米の出的	助	0	2)事業補助金(団体等	事業に対する補	助金など)
②支 出 の 根 拠	即士分令	祉法人の助成	1-88-	Z 久/励	金		(3) 一般負担金(団体等への負担金な			金など)
②又 山 の 依 拠	送山江五油	仙本人の助成	ハードリタ・	る未例	のハ	(4)事業負担金(団体等	事業に対する負	担金など)
③支 出 先	计今垣址注	人武芸会 理	車 長 ;	河内 美文	一 分 類	((5)個人に対する補助金・負担金			
Э Х ш ж	化去油性法	八瓜云云 垤	学文 /	明内 天人	7.5	(6) その他			
④国・県の負担	Oなし	国の負担	あり	負担割合			負担額			千円
4 国・県の負担	0 4 0	県の負担	あり	負担割合			負担額			千円
	対 象 社会	·福祉法人武芸	芸会						に対して	
⑤支 出 の 目 的	手 段老人	手 段 老人福祉施設土地賃借料に係る補助 を							を行うこと	で
	受益者要介	受益者 要介護者 ::							が(を)	
	意 図 老人	、福祉施設に入	人所がで	きる					という状態	にする
⑥期 間	н 30 年	4 月 1 日	~ н 3	31 年 3 月	31 日	補助	• 負担開始年度	平月	式 12	年度
⑦事 務 局 体 制	主に市	の担当課	O È	に支出先団体	<u>.</u>		その他()
⑧構成員の負担	〇 負担な	こし	負	(担あり		負担	額	あ	たり	円

2 実績(見込み) 【DO】

	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		補助・負担率を定めている→補助率	<u>x</u>					
①補助・負担金 の額(千円)	1, 114	1, 114	1, 114	1, 114		単価を定めている→算式						
			1, 114		0	定額補助・負担 その他 ()					
②過去における 見直し状況	見直しは行っ	直しは行っていない。										
@ ~ III 10 17 // 7	H30歳入決	算額 1	<mark>, 114</mark> 千円	H30歳出決	算額	1,114 千円 翌年度繰越額	0 千円					
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合 1(00.0 %		決算額を把握していない						

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
USEL	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	ない	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
② 劝平 庄	支出額・補助・負担率は適正か	要検討	
	補助・負担の目的は達成できているか	できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	社会福祉法人の全額持ち出しとなる	

①方 向 性	0		3縮小・減額を検討			
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	介護	保険制度ができる前にでき	きたも	らのであるため、このまま	継続	するしかない。

No. 💥

扣业部	高齢福祉	L 钾	±7. ⊏	健康福祉部	- 3.質重業コード	111400
1210味	同断作	L 沫 王 * ·	即,四	(连)水(田(江口)		111400

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市敬	老会事業	業補助金			補		(1) 一般補助金(2) 事業補助金(
②支 出 の 根 拠	関市敬	老会事業	業補助金交	付要綱		助金の分	(3) 一般負担金(団体等への負担: (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担:				
③支 出 先	敬老会る	会を実施する自治体等団体						(5)個人に対する補助金・負担金 (6)その他			9担金
④□ □ □ ○ 台 坦	の負担 〇なし 国の負担			あり	負担割合			負担額			千円
④国・県の負担	040		県の負担を	あり	負担割合			負担額			千円
	対象	オ 象 75歳以上を対象に、敬老会事業を実施する団体 に対して									
⑤支 出 の 目 的	手 段	75歳以上の高齢者を対象に敬老会事業の事業費の一部補助 を行うことで								とで	
	受益者	者 75歳以上の高齢者 が (を)									
	意 図	意 図 敬老会に参加することで、人と人との繋がり、地域の繋がりを 維持し、高齢者の孤立をなくす									
⑥期 間	н 30	年 4 月 1 日 ~ н 31 年 3 月 31 日 補助・負担開始年度 昭和 50 年月							年度		
⑦事 務 局 体 制	主	に市の	こ市の担当課 〇 主に支出先団体					その他()
⑧構成員の負担	負	担なし		O 負	負担あり		負担	額	あ	たり	円

2 実績(見込み) 【DO】

	H28決算 H29決算 H30決			H31予算		補助・負担率を定めている→補助	助率				
①補助・負担金 の額(千円)	32, 668	33, 099	33, 262	36, 000	0	単価を定めている→算式	2,700円/人				
07	32, 000	33, 099				定額補助・負担 その他	(
②過去における 見直し状況	平成21年月	成21年度に10%削減。単価3,000円から2,700円へ削減。									
© >< m >0 ** " ()	H30歳入決	算額	千円	H30歳出決	算額	千円 翌年度繰越額	0 千円				
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合	%	0	決算額を把握していない					

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題			
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	事業を実施する上で、補助は必要である			
U y = II	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	් තිං			
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	実績報告により把握	各自治会等に実施を任せているため、 事業の規模の格差が大きく、必ずしも			
区划平江	支出額・補助・負担率は適正か	補助単価の検討が必要	効率が良いとは言えない。			
	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成している	仲間づくり、地域の繋がりづくりとし ての有効性は大きい。			
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	例年通りで、向上は難しい	この行列には入とい。			
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	高齢者からの不満は大きい				

①方 向 性	1現状のまま継続	○ 2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)	4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	時代のニーズに合わせて、将著	来的には補助の方法を再検討す	る必要がある。

No. 💥

担当課	高齢福祉課	安. 却. 巳	健康福祉部	予質車業コード	112040
担ヨ誄	同断油性味	至。即。向	(注)求(田(江口)		112040

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	徘徊高	齢者探	索システム	助成事	業	補助	<u> </u>)一般補助金(
②支 出 の 根 拠	関市徘徊	回高齢	者探索システ	テム助用		金	H.)一般負担金			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
						一 の公	``	事業負担金([
③支 出 先	徘徊古 龄:	*物毒:	フニノの利用を	· 本切士 2	5者(在宅介護者)	分 類	O)個人に対	する	補助金・負	負担金
③支 出 先	1年1四同町1	白抹糸ン	ステムの利用で	の主りる)有(住七川護有)	大只	(6)その他			
④□ □ □ ○ 台 □	0 #>1		国の負担な	あり	負担割合			負担額			千円
④国・県の負担	Oなし		県の負担さ	あり	負担割合			負担額			千円
	対象	象 徘徊高齢者探索システムの利用を希望する者(在宅介護者) に対して									
⑤支 出 の 目 的	手 段	段の神徊高齢者探索システム購入助成を行うこ						とで			
	受益者	者は個高齢者探索システムの利用を希望する者(在宅介護者)が(を)									
	意 図	徘徊高 的、経	齢者等の居 済的負担を	計が確 ・軽減す	፤認できるよう ⁻る	になり	J、介	護者の精神		という状	態にする
⑥期 間	н 30	年 4	月 1 日	~ H	31 年 3 月	31 E	補助・	負担開始年度	平瓦	え 27	年度
⑦事 務 局 体 制	主	に市の	こ市の担当課 主に支出先団体 〇 その他 (各個人)	
⑧構成員の負担	負	担なし		O 負	負担あり		負担額	Į I	あ†	= 4	円

2 実績(見込み) 【DO】

	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		補助・負担率を定めている→補助率		
①補助・負担金 の額(千円)	0	0	8	8 40		単価を定めている→算式		
07頃(111/						定額補助・負担 〇 その他 (<mark>上限 8,000円</mark>)		
	H29. 3. 31委託で同じような制度をやっていた (機器等の貸与) 平成 2 7 年度から初期費用(上限 8,000円)の助成に変更							
③支出先の決算	H30歳入決	算額	千円	H30歳出決	算額	千円 翌年度繰越額 0 千円		
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合	%	0	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
リ女ヨ ほ	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	していない	
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	なし	

①方 向 性		1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)	0	4統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	令和:	元年度に高齢者等見守りシー	-ル交	付事業を開始したため、サ−	-ビス	の統合を検討したい。

No. 💥

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予賞 1 1 1 1 1 1 1 1 1	美コード	
1 IN		_	(左/水 田 正	1,22,2,	_ '	112010

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	高齢者	高齢者いきいき住宅改善助成事業)一般補助金([事業補助金([
②支 出 の 根 拠	関市高	関市高齢者いきいき住宅改善助成事業実施要綱 ┃ ☆ ┣━━━						<u>`</u>	(3) 一般負担金(団体等への負担金など) (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)			
③支 出 先	介護保	↑護保険を利用して住宅改修を行う者						_)個人に対)その他	する	補助金・∶	負担金
④□ □ □ ○ ○ □	0 +> 1		国の負担な	あり	負担割合				負担額			千円
④国・県の負担	Oなし		県の負担さ	あり	負担割合				負担額			千円
	対象	対 象 介護保険を利用して住宅改修を行う者 に対して										
⑤支 出 の 目 的	手 段	手 段 <mark>床段差の解消や手すりの取り付けなどの住宅改修</mark> を行うことで								とで		
	受益者	受益者 対象者							が(を)			
	意 図	意図 自宅で安全に生活ができる							という状	態にする		
⑥期 間	н 30	年 4	月 1 日	~ н	31 年 3 月	31	日	補助・	負担開始年度	平成	t 12	年度
⑦事 務 局 体 制	主	に市の	担当課	1-1	Eに支出先団(本	C) -	その他(各個	人)
⑧構成員の負担	負	負担なし O 負担あり					負	負担額	Į l	あ <i>t</i>	= 4	円

2 実績(見込み) 【DO】

	H28決算 H29決算 H30決			H31予算	0	補助・負担率を定めている→補助率 0~40%		
①補助・負担金 の額(千円)	4, 037	1, 610	2, 265	3, 600		単価を定めている→算式		
		1, 010	2, 200	3, 000		定額補助・負担 その他 ()	
②廻去における	平成15年度改修対象となる住宅の明確化及び対象工事期間の明確化 平成22年度助成対象額を500,000円から250,000円へ 平成29年度介護保険住宅改修制度の上乗せ制度に改正							
③支出先の決算	H30歳入決	算額	千円	H30歳出決	:算額	千円 翌年度繰越額 0 千円	ı	
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合	%	0	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題				
①妥当性	補助・負担することが適当か		類似の補助金があるため、支出額・支出要件について、さらなる検討が必要(補助要				
USSIE	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)		件の見直し、生計中心者の考え方等)				
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか		類似の補助金があるため、支出額・支 出要件について、さらなる検討が必要 (補助金額、負担率等の見直し)				
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正					
	補助・負担の目的は達成できているか		介護に必要な住宅改修をすることにより安 全に生活ができ、介護者の負担も軽減され				
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか		るなど、低所得者にとっては負担が軽く済み、事業の役割は大きい。				
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	低額所得者への改修負担増	の、尹未の攻削は八さい。				

①方 向 性		1現状のまま継続	0	2補助・負担内容を見直す	0	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状况等)	すい住	E宅への改修は一段と重要な施策	をとなる	設介護から在宅介護へと方針転る。このことを踏まえ、市ではは る。このことを踏まえ、市ではは 似の制度であるため、さらに見 助金額、負担率等の見直し等)	平成29	年度から介護保険の上乗せ制

No. 💥

担当課 高齢福祉課 室・部・局 健康福祉部 予算事業コード 111220

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	老人クラブ活動事業補助	力金	補 1/2						
②支 出 の 根 拠	関市老人クラブ助成事業	美補助金交付要綱	の (4	金 (3) 一般負担金(団体等への負担金など) (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など					
③支 出 先	関市内の単位老人クラフ	Ϋ́	親 —))個人に対す ()) その他	する補助金・負担金				
④□ □ □ ○ 台 □	なし 国の負担	あり 負担割合		負担額	千円				
④国・県の負担	○県の負担	あり 負担割合	2/3	負担額	1,422 千円				
	対 象 単位老人クラブ				に対して				
⑤支 出 の 目 的	手 段 地域の見守り、健康増進、友愛訪問活動を実施 を行うことで								
	受益者 6 5歳以上の単位	が (を)							
	意図組織として自立る	意 図 組織として自立させ、高齢者の生きがいの場所をつくる という状態にする							
⑥期 間	н 30 年 4 月 1 日	~ н <mark>31</mark> 年 3 月	31 日 補助・	負担開始年度	昭和 50 年度				
⑦事 務 局 体 制	主に市の担当課	○ 主に支出先団体		その他()				
⑧構成員の負担	負担なし	〇 負担あり	負担額	1 人	あたり 1,000~1,500 円				

2 実績(見込み) 【DO】

	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		補助・負担率を定めている→補助率					
①補助・負担金 の額(千円)	3, 356	3, 012	2, 912	2 3, 118		単価を定めている→算式					
0765 (111)	3, 300	3,012	2, 912		0	定額補助・負担 その他 ()				
O	平成21年度に一律10,000円、補助金を削減。60,000円を50,000円、66,000円を56,000円、72,000円 を62,000円に変更。										
	H30歳入決	算額 19	<mark>,772</mark> 千円	H30歳出決	算額	15,571 千円 翌年度繰越額 4,201 千円					
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合 1	4.7 %		決算額を把握していない					

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
USEL	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
② 劝平 庄	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか	達成している	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	組織の活動が低下するため、影響は大きい。	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
		な高齢者の活力は、今後(大きい。老人クラブの加 <i>。</i>		

No. 💥

扣坐卸	古松石址田	中 切 日	ᄻ	マダ市サー じ	111000
担目誄	高齢福祉課	至・前・向	健康福祉部	予昇事業コート	111220

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市老人クラブ連合会活	動事業補助金	補 —		会(団体等への補助金など) 団体等事業に対する補助金など)				
②支 出 の 根 拠	関市老人クラブ助成事業	· 補助金交付要綱	金 (3	/ //	会(団体等への負担金など) 団体等事業に対する負担金など)				
③支 出 先	関市老人クラブ連合会		分類		する補助金・負担金				
	国の負担	あり 負担割合		負担額	千円				
④国・県の負担	なし 〇県の負担	あり 負担割合	3分の2	負担額	1,000 千円				
	対象関市老人クラブ	対象関市老人クラブ連合会に対し							
⑤支 出 の 目 的	手段健康増進、社会奉仕、教養事業を実施を行うこ								
	受益者関市老人クラブ	登益者 関市老人クラブ連合会 7							
	意 図 組織として自立さ	意 図 組織として自立させ、高齢者の介護予防や生きがいづくりを実施する という状態にする							
⑥期 間	н 30 年 4 月 1 日	~ н 31 年 3 月	31 日 補助・	負担開始年度	昭和 50 年度				
⑦事 務 局 体 制	主に市の担当課	主に市の担当課 〇 主に支出先団体 その他 (
⑧構成員の負担	負担なし	○ 負担あり	負担額	頁 <mark>1クラブ</mark> あたり <mark>10,500</mark> 円					

2 実績(見込み) 【DO】

	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		補助・負担率を定めている→補助率	<u>x</u>
①補助・負担金 の額(千円)	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500		単価を定めている→算式	
ジ 根(111/	1, 500	1, 300			0	定額補助・負担 その他 ()
②過去における 見直し状況	0						
@ ~ III 	H30歳入決	算額 5	<mark>,946</mark> 千円	H30歳出決	算額	5,765 千円 翌年度繰越額	181 千円
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合 2	25. 2 %		決算額を把握していない	

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題		
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	2/3の県からの補助金が継続されれば、妥当と考えられる。		
①安ヨ汪	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	は、女当と考えられる。		
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	連合会が、市の単位クラブをまとめて いくという点では、重要である。		
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正			
	補助・負担の目的は達成できているか		高齢者の健康増進や社会福祉を実施していく団体への補助は、有効である。		
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している			
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	組織の維持が困難になる			

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
		の会員が4,398名で、その れる。平成21年度から事績		

No. 💥

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111240

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	高齢者淵	溜まり場創造事業			補助)一般補助金([事業補助金([
②支出の根拠	決裁に。	 よる			金	H.)一般負担金	_			
					の分	(4)	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
③支 出 先	(社	t) 関市シルバー人	、材セン	ター理事長	類	(5)個人に対	する	補助金・負	担金	
⑤文 山 元		相宮千	秋		双	(6)その他				
	0 + 1	国の負担な	あり	負担割合			負担額			千円	
④国・県の負担	Oなし	県の負担な	あり	負担割合			負担額			千円	
	対 象	象 (社) 関市シルバー人材センター に対して									
⑤支 出 の 目 的	手 段	手 段 高齢者が自由に集い、会話し、趣味を通して交流する場所の提供 を行う							を行うこ。	とで	
	受益者	受益者 高齢者 が							が(を)		
	意 図	住み慣れた地域の 立化や引きこもり	中で、 を防ぐ	健康で生き生	きとし	た生活	舌を送り、	孤	という状態	態にする	
⑥期 間	н 30	年 4 月 1 日	~ н 3	3 月	31 日	補助・	負担開始年度	平原	戈 25	年度	
⑦事 務 局 体 制	主	に市の担当課	O È	に支出先団体			その他()	
⑧構成員の負担	負:	担なし	O 負	.担あり		負担客	Į l	あり	= 9	円	

2 実績(見込み) 【DO】

	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		補助・負担率を定めている→補助率		
①補助・負担金 の額(千円)	1, 200	1, 200	1, 200	1, 200		単価を定めている→算式		
07 段(1117	1, 200			1, 200		定額補助・負担 〇 その他 (事業補助)
②過去における 見直し状況								
③支出先の決算	H30歳入決	算額 4	<mark>,054</mark> 千円	H30歳出決	算額	4,054 千円 翌年度繰越額	0 千円	
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合	29.6 %		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
USEL	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
② 劝平 庄	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか	達成している	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	利用者の利便の低下	

①方 向 性	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)	4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	ができるように、自由に集い、	齢者が住み慣れた地域で、健康 、交流する居場所を作ることに 今後は、事業のPRを図り、利 したい。	より、孤立化や引きこもりを

No. 💥

担当課	高齢福祉課	安。郏。艮	健康福祉部	予質重業コード	111800
12日味	同断油性味	至一即一向	(连球油(11)	丁异争未 コート	111000

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	(社) [)関市シルバー人材センター事業補助金					(1) 一般補助金(団体等への補助金など) 〇(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
②支 出 の 根 拠	決裁に。	よる				助金の分	② 一般負担金(団体等への負担金など) (3) 一般負担金(団体等事業に対する負担金など) (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
③支 出 先		(社)関市シルバー人材センター 理事長 相宮千秋					į 📙 🗥	5)個人に対 6)その他	する	補助金・負	担金
④国・県の負担	Oなし		国の負担を	あり	負担割合			負担額			千円
4 国・朱の貝担	٥٨٥		県の負担を	あり	負担割合			負担額			千円
	対象(社)関市シルバー人材センター									に対して	
⑤支 出 の 目 的	手 段	手 段事業運営補助を行							を行うこと	とで	
	受益者	受益者 60歳以上の高齢者等 においます においま においます においま においま においまり においまり においまり においます においます においまり においます においます においまり においまり においまり においまり にまり にまり にまり							が(を)		
	意 図	就業植	幾会、能力活	ま用の機	会の確保をす	⁻ るこ	とがで	きる		という状態	態にする
⑥期 間	н 30	年 4	月 1 日	~ н 🤅	31 年 3 月	31	日補助	• 負担開始年度	昭和	□ 60	年度
⑦事 務 局 体 制	主	に市の	□市の担当課 O 主に支出先団体 その他 ()		
⑧構成員の負担	負	担なし	,	O 負	担あり		負担額	額 1人	あ	たり 2,00	100 円

2 実績(見込み) 【DO】

	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		補助・負担率を定めている→補助率			
①補助・負担金 の額(千円)	11, 150	11, 270	11 270	11, 270		単価を定めている→算式			
V/IR (111/	11, 130	11, 270	11, 270	11, 270 11, 270		定額補助・負担 〇 その他 (事業補助)	
②過去における 見直し状況	国の補助と同額を交付しているため、特に見直ししていない。								
	H30歳入決	30歳入決算額 266, 562 千円 H30歳出決算額 262, 878 千円 翌年度繰越額 3, 684 千円							
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合	4. 2 %		決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
①女ヨ ほ	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	要検討	
	補助・負担の目的は達成できているか		今後、元気な高齢者の労働力の活用が 求められることから、会員数の増加や
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか		就業先の拡大への支援が必要
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	事業の見直しが必要となってくる	

①方 向 性	0	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	が、 要が。	23年度から、約25%減額して 今後は更なる経営の合理化に ある。高齢化社会に向けて、 あり、今後の新しい働き方の	努め 元気	るとともに事業拡大を図り、 な高齢者の労働力は重要と表	自主	・自立の経営を推進する必

No. 💥

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112060

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

THE STATE OF THE S											
①補助金等の名称	地域で	也域での支え合い体制づくり補助金交付事業 (1) 一般補助金(団体制)									
②支 出 の 根 拠		関市地域での支え合い活動支援事業費補助金 交付要綱 (3)一般負担金(団体等事業のでは、1) (4) 事業負担金(団体等事									
③支 出 先	地域サ	ロン活	5動団体			一 タ	頁	(5)個人に対	する	補助金・負	担金
	Π		国の負担	あり	負担割合			負担額			千円
④国・県の負担	なし	^	〇県の負担		負担割合		1/2	負担額		1, 739	千円
	対 象	対象 地域での生活支援事業を立ち上げようとする団体 に対して									
⑤支 出 の 目 的	手 段	活動	の立ち上げる	支援						を行うこ。	とで
③文 山 <i>0</i> 日 的	受益者	高齢	者							が(を)	
	意図	意図地域で生活支援を受けることができ、安心して在宅で生活できるという状態								態にする	
⑥期 間	н 30	30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日 補助・負担開始年度 平成 27 年度							年度		
⑦事 務 局 体 制	É	主に市の担当課 〇 主に支出先団体 その他 ()		
⑧構成員の負担	負	負担なし 〇 負担あり 負担額 あた						= IJ	円		

2 実績(見込み) 【DO】

	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		補助・負担率を定めている→補助率				
①補助・負担金 の額(千円)	493	266	3, 478	4, 000		単価を定めている→算式				
V/IR (111/	433	200	3, 470	4, 000		定額補助・負担 〇 その他 (
②過去における 見直し状況	なし	まし								
@ ~ III 10 17 // 7	H30歳入決	算額	千円	H30歳出決	算額	千円 翌年度繰越額 0 千円				
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合	%	0	決算額を把握していない				

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
リ女ヨ ほ	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
企 劝平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	生活支援ができない	

①方 向 性	0	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定	6休止・廃止を検討
2課 題	ター、 ¹ また、3	域での支え合い活動支援事業費補助金制 包括支援センターと共に地域づくりを推 現在高齢者を対象とした事業となってい 策課に変更予定。	進するロ	中で周知を図っていく。	

No. 💥

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112060
坦크麻	同图加田江苏	ᆂᄀᄞᄀᄱ	(注)求(田(正口)		112000

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	ふれあし	ふれあい・いきいきサロン事業								体等への補助 事業に対するネ	
②支 出 の 根 拠	決裁に。	よる				金の	助金 (3) 一般負担金(団体等事業に対する負担金などの) (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金などの) (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金などの)				
③支 出 先	関市社会	会福祉	協議会			一 分 類	į 📙 '	5)個人に対 6)その他	する	補助金・負	担金
④国,周办各 坦	0 #: 1		国の負担を	あり	負担割合			負担額			千円
④国・県の負担	Oなし		県の負担を	あり	負担割合			負担額			千円
	対象	関市社	土会福祉協議	会						に対して	
⑤支 出 の 目 的	手 段	高齢者	の社会的孤立	エを防ぐ	ため、各地域の)サロ:	ン活動	の一部補助		を行うこと	こで
	受益者	高齢都	Í							が(を)	
	意 図	意 図 住み慣れた地域で生きがいをもって生活できる という状態にす								まにする	
⑥期 間	н 30	н <mark>30 年 4 月 1 日 ~ н 31 年 3 月 31 </mark> 日 補助・負担開始年度 平成 13 年度									
⑦事 務 局 体 制	主	主に市の担当課 〇 主に支出先団体				ķ		その他()
⑧構成員の負担	負	担なし	,	O 負	担あり		負担	額 1人	あっ	±9 100~5	<mark>000</mark> ⊞

2 実績(見込み) 【DO】

	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		補助・負担率を定めている→補助率				
①補助・負担金 の額(千円)	2, 000	2, 000	2, 500	2, 600		単価を定めている→算式				
V/IR (111/	2, 000	2, 000	2, 300	2, 000	0	定額補助・負担 その他 (
②過去における 見直し状況	なし	なし								
@ ~ III 10 17 // 7	H30歳入決	算額 613	<mark>, 794</mark> 千円	H30歳出決	算額	627, 123 千円 翌年度繰越額 -13, 329 千円				
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合	0.4 %		決算額を把握していない				

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
USEL	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
②劝华庄	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	生きがいづくりを支援する事業がなくなる	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討	5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)		も高齢社会の進展に合わる は現状維持とするのか、」		まで	補助を拡大するのか、あ

No. 💥

ı	坦州理	高齢福祉課	安』邨』目	健康福祉部	予質重業コード	1300462
ı	担ヨ砵	同断伸性袜	王'即'问	(建)承(田(山口)	丁昇爭未 コート	1300402

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市認知症カフェ補助金						補	(1) 一般補助金(団体等への補助金な (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金な					
②支 出 の 根 拠	関市認知症カフェ補助金交付要綱							H.	(3) 一般負担金(団体等への負担金など)				
							の分		(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
③支 出 先	関市認知症カフェ実施団体 類 (5) 個人に対する補助金・負						負担金						
© A B 70	1×1 · 1× 1/0	内で心が近のフェスが世界						(6	(6) その他				
4国・県の負担	なし		〇国の負担	あり	負担割合		38.5%		負担額		132 千円		
4 国・泉の貝担	'* '	•	〇県の負担	あり	負担割合		19. 2	5%	負担額			66 千円	
	対象	対象関市認知症カフェ実施団体						に対して					
⑤支 出 の 目 的	手 段 認知症カフェを行う経費の一部の補助							を行うこ	とで				
	受益者	認知	認知症やその家族、地域の方							が(を)			
	意 図	認知	認知症に対する理解を深めるという							という状	態にする		
⑥期 間	н 30	年 4	4 月 1 日	~ н	31 年 3 .	∃ 31	日	補助・	負担開始年度	平原	成 30	年度	
⑦事 務 局 体 制	主	に市	の担当課	0	Eに支出先団	体			その他()	
⑧構成員の負担	負	担な	l	0 1	負担あり		1	負担額		あ 7	たり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金 の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		補助・負担率を定めている→補助率
			295	900		単価を定めている→算式
			290			定額補助・負担 O その他 (上限 60,000円)
②過去における 見直し状況						
@ ~ III 10 17 // 7	H30歳入決	算額	千円	H30歳出決	算額	千円 翌年度繰越額 0 千円
の状況	H30歳入に占め	る補助・負担	金の割合	%	0	決算額を把握していない

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適正	
U y = II	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか		補助により実施団体が増加したが、今 後、新規団体をどうのように増やして
O	交付先の事業成果は向上しているか		いったらよいか。
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	実施する団体が減少する	

①方 向 性	0	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)		金額や、いつまで団体へ(か、課題である。	の補具	力を継続していったらよ し	いか。	新規団体をどう増やして